

2020年6月19日

環境大臣 小泉進次郎殿

TOKYO ZEROキャンペーン

代表理事：藤野真紀子

「犬猫等販売業者における飼養管理基準」に関する要望書

日本ではいまや、犬や猫の飼育頭数が15歳未満の子どもの人口を超えています。家族のような存在であるはずなのに、全国の自治体では平日毎日、約200匹もの犬猫たちが殺処分されています。そして、一部の悪質なペットビジネスによって闇に消えていく命は、公的機関によるカウントすらできない状況です。

日本ほど大規模に、生体を流通・小売業という業態で売るビジネスが発展した事例は、欧米先進国ではほとんどみられません。日本ではこのビジネスを支えるために、全国各地で工場化した繁殖業と競り市（ペットオークション）が営まれています。その結果、毎日のべ約2千500匹もの犬や猫が国内では流通されています。

人間のパートナー、家族として生まれてきたはずなのに人間に虐待され、捨てられ、殺されていく命があります。私たちTOKYO ZEROキャンペーンでは66人（組）の呼びかけ人とともに、東京オリンピック・パラリンピックの開催年であった2020年度までにこうした状況を変えたいと、活動して参りました。

昨年6月、改正動物愛護法が議員立法によって成立し、ようやく「8週齢規制」が実現しました。そして、数値規制を盛り込んだ飼養管理基準が環境省令で定められることになりました。ひとえに、動物たちと真の意味で共生できる社会を目指して活動してこられた、国会議員の皆さまのおかげと感謝している次第です。

そんななかでこの度、小泉進次郎環境大臣に要望させていただくのが、日本で暮らす犬猫たちを真に守れる、国際的な動物福祉にかなう水準に達する、飼養管理基準の実現です。

動物愛護団体の悲願であった8週齢規制が来年6月に実現することになります。しかし、8週齢規制とあわせて、犬猫等販売業者の飼養管理状況を確実に改善できる基準が定められなければ、これまでより長く親元にいることになる子犬・子猫の苦しみは長引くことになり、子犬・子猫の適切な社会化や免疫力の向上をはかるという法改正の目的も果たせなくなります。もちろん、繁殖に使われる親犬、親猫たちの動物福祉を向上させるという立法者の意思もないがしろになってしまいます。

TOKYO ZEROキャンペーンは、今年4月3日に小泉環境大臣に提出された、超党派の「犬猫の殺処分ゼロをめざす動物愛護議員連盟」（会長＝尾辻秀久・参院議員）による基準案に賛同しています。つきましては、環境省が現在検討を進めている犬猫等販売業者における飼養管理基準（環境省令）に、少なくとも次にあげる数値等を盛り込んでいただけますよう、ここにお願い申し上げます。

①飼養施設の管理、飼養施設に備える設備の構造及び規模並びに当該設備の管理に関する事項

趣旨：犬の繁殖業者には、「平飼い」を推奨し、何段にも積み重ねた狭い寝床に入れっぱなしにするいわゆる「ケージ飼い」をする劣悪業者がいなくなるような数値等を盛り込んでいただきたい。猫の繁殖業者には、上下運動が可能なケージでの飼養が普及するような数値等を盛り込んでいただきたい。

具体的な数値等（犬）：

- ・寝床を直接積み重ねることを禁止する。
- ・ケージは小型犬では2平方メートル以上とし、ケージ内には寝床・餌場・トイレを設ける。
- ・ケージ内の寝床・餌場・トイレはそれぞれ最低50センチ以上離して設置する。
- ・寝床の長さは体長の1.5倍以上、幅は体高の1.3倍以上、高さは四肢で立ったとき天井に頭がつかないものとする。
- ・寝床及びケージの床材に金網を用いることを禁じる。

具体的な数値等（猫）：

- ・ケージは2段以上として最低一つの棚板を備え、ケージ内には寝床・餌場・トイレを設ける。
- ・ケージ内の寝床・餌場・トイレはそれぞれ最低50センチ以上離して設置する。
- ・ケージの床面積は0.85平方メートル以上とする。
- ・寝床及びケージの床材に金網を用いることを禁じる。

②動物の飼養又は保管に従事する従業者の員数に関する事項

趣旨：繁殖のために飼養される犬猫及び販売される子犬・子猫の心身の健康及び衛生状態を良好に保ち、必要最低限度の運動を行うのに必要な員数を確保するとともに、従業者の労働条件を適正なものにできるような数値等を盛り込んでいただきたい。

具体的な数値等（犬）：

- ・繁殖業者については、従業者1人あたり繁殖用の犬は15頭までとする。
- ・ペットショップについては、従業者1人あたり犬は20頭までとする。

具体的な数値等（猫）：

- ・繁殖業者については、従業者1人あたり繁殖用の猫は20頭までとする。
- ・ペットショップについては、従業者1人あたり猫は20頭までとする。

③動物の飼養又は保管をする環境の管理に関する事項

趣旨：犬猫本来の動きがとれるよう、必要最低限度の運動を行わせることができる数値等を盛り込んでいただきたい。

具体的な数値等（犬）：

- ・1回20分の散歩を1日2回以上行うこと。

具体的な数値等（猫）：

- ・起きている時間の50%以上、ケージの外に出すこと。

④動物を繁殖の用に供することができる回数、繁殖の用に供することができる動物の選定その他の動物の繁殖の方法に関する事項

趣旨：母体の健康を守るとともに、繁殖用の雌雄ともに引退後はなるべく順調に家庭動物（愛玩動物）になれるような数値等を盛り込んでいただきたい。同時に、生まれてくる子犬・子猫の健康が損なわれることなく、消費者にとっても利益となるような数値等を盛り込んでいただきたい。

具体的な数値等（犬猫共通）：

- ・生涯の出産回数は6回まで。
- ・遅くとも、一般に犬猫が「シニア」期に入るとされている7歳で繁殖から引退させること。

【TOKYO ZEROキャンペーン呼びかけ人（2020年6月1日現在、五十音順）】

秋吉久美子さん（女優）／ATSUSHIさん（ダンサー[Dragon Ash/POWER of LIFE]）／安藤優子さん（ニュースキャスター）／生島ヒロシさん（フリーアナウンサー）／イズミカワソラさん（音楽家、トリマー）／梅沢浩一さん（放送作家）／太田光代さん（株式会社タイタン代表取締役）／落合務さん（ラ・ベットラ・ダ・オチアイ オーナーシェフ）／織作峰子さん（写真家）／門倉健さん（中日ドラゴンズコーチ）／蟹瀬誠一さん（ジャーナリスト、明治大学国際日本学部教授）／金子達仁さん（スポーツライター、ノンフィクション作家）／假屋崎省吾さん（華道家）／木下航志（キシタコウジ）さん（ミュージシャン）／木場弘子さん（キャスター、千葉大学客員教授）／熊谷喜八さん（料理人、「KIHACHI」総料理長）／小暮真久さん（NPO法人テーブル・フォー・ツー・インターナショナル代表）／児玉小枝さん（写真家、フォト・ジャーナリスト）／小林里香さん（モデル）／小六禮次郎さん（作曲家、編曲家）／近藤秀和さん（Lunandscape 株式会社最高経営責任者）／斉藤和義さん（ミュージシャン）／三枝成彰さん（作曲家）／佐藤大吾さん（一般財団法人ジャパングビング代表理事）／SHELLYさん（モデル、タレント）／塩村あやかさん（放送作家、参議院議員）／ジョンBさん from ウルフズ（ミュージシャン）／SILVAさん（歌手）／神野美伽さん（歌手）／杉山愛さん（プロテニスプレーヤー）／スギヤマカナヨさん（絵本作家）／世良公則さん（ミュージシャン）／竹内薫さん（サイエンス作家）／田中英成さん（株式会社メニコン代表執行役社長）／田辺アンニイさん（『それでも人を愛する犬』著者）／陳建一さん（料理人）／継枝幸枝さん（ファッションデザイナー）／トータス松本さん from ウルフズ（ミュージシャン）／富坂美織さん（産婦人科医）／とよた真帆さん（女優）／新妻聖子さん（女優、歌手）／西川りゅうじんさん（マーケティングコンサルタント）／野中ともよさん（ジャーナリスト、NPO 法人ガイア・イニシアティブ代表）／倍賞千恵子さん（俳優、歌手）／服部幸應さん（服部栄養専門学校理事長、医学博士）／ハリス鈴木絵美さん（change.org アジア・ディレクター）／久石譲さん（作曲家）／藤井秀悟さん（元プロ野球選手）／藤野真紀子さん（料理研究家、元衆議院議員）／BONNIE PINK さん（ミュージシャン）／bonobos（ミュージシャン）／堀紘一さん（株式会社ドリームインキュベータ代表取締役会長）／麻衣さん（歌手）／増田太郎さん（ヴァイオリニスト）／松嶋初音さん（タレント）／松原耕二さん（作家、ジャーナリスト）／松原賢さん（編集者）／マロンさん（フードスタイリスト）／三國清三さん（ホテル・ドゥ・ミクニ オーナーシェフ）／ミス・ワールド・ジャパン・オーケストラ（ミュージシャン）／南美布さん（ラジオDJ）／宮本亜門さん（演出家）／八塩圭子さん（フリーアナウンサー、学習院大学特別客員教授）／山田美保子さん（放送作家）／湯川れい子さん（作詞家、音楽評論家、エンジン01文化戦略会議動物愛護委員会委員長）／与田剛さん（中日ドラゴンズ監督）

住所：東京都千代田区麹町 2-6-10 麹町フラッツ 2 階 代表理事：藤野真紀子